

OECD パブリック・フォーラム- 国連防災会議 リスク・ガバナンスとレジリエントな都市

Agenda

2015年3月16日(月) – 仙台

仙台市民会館, 9:30-11:30



より良い政策 より良い暮らし

受付は9：00から開始します。

場所：仙台市民会館 小ホール（仙台市青葉区桜ヶ丘公園 4-1 ）

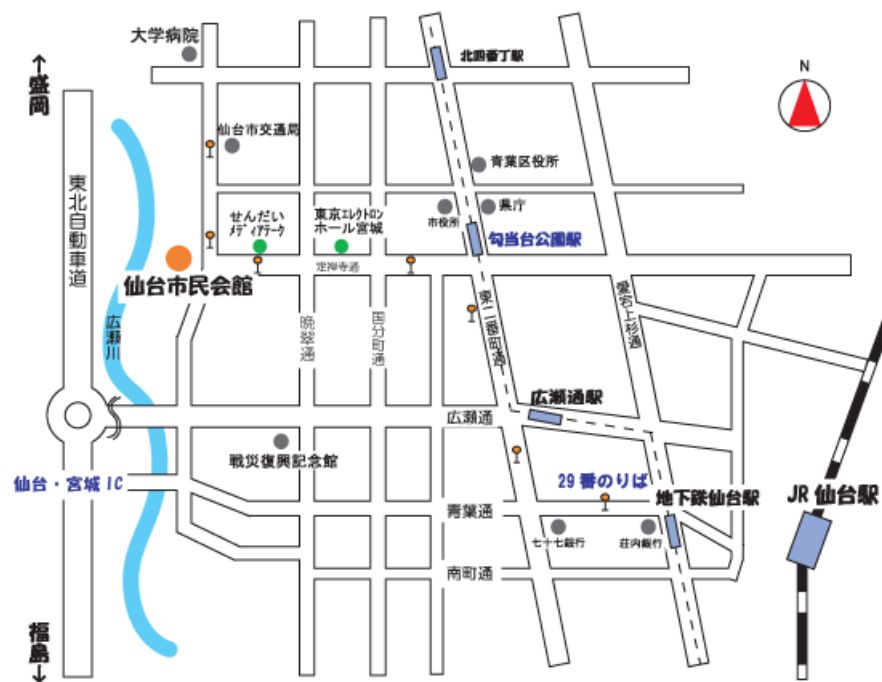
下記地図参照

入場：先着500名まで（無料）

主催：OECD（経済協力開発機構）

後援：国土交通省、外務省（予定）

※仙台市民会館 位置図



開催趣旨

政府は市民の生命や財産を守り、治安を保持し、また、基幹インフラや健全な市場を維持するために、重要な役割を果たします。重大リスクのマネジメントは、この20年間にわたり、基幹インフラが互いに連結しあい、経済的な相互依存が高まるにつれ、ますます困難になってきています。このため、責任主体が誰であり、リスク管理者が誰であるのかは、必ずしも明らかではありません。重大リスクを効果的にマネジメントすることは、国にとって主軸となる戦略的投資であり、将来にわたる競争力を強化し、持続可能な経済の成長を遂げるために必要です。重大リスクに対するレジリエンスを高めるためには、リスクの特定、評価から、予防や緩和、準備、対応、社会的・財政的回復、復興そして政策改革にいたるリスク管理能力の全サイクルにおいて、投資を必要としています。国同士や、民間セクター等の主要関係者とこれらの段階のガバナンスにおいて協力関係を構築することすることは重要です。これによって相互理解のための基盤を構築し、重大リスクのガバナンスやマネジメントを絶えず向上させていくことができます。

国際的な協力を通じて、リスク・ガバナンスやマネジメントの優良な政策の経験から導かれる教訓を導き出すことができます。**OECD「重大リスクのガバナンスに関する理事会勧告」**は各国の取り組みを比較し、すべてのレベルの政府における優良事例を特定する枠組みを提供しています。**OECD**のハイレベル・リスクフォーラムは、特定された優良事例を踏まえ、政策の手引きを**OECD**加盟国・非加盟国に幅広く提案することを目的としています。

都市は人口と経済活動が高度に集積していることから、リスクに多くさらされています。既成市街地における複雑な都市システムは、基幹インフラのネットワークが遮断された場合、その影響はグローバルサプライチェーンを通じて世界規模に拡大します。また、自然環境もおびやかされ、政府に対する信頼も失われます。その一方で、都市は、総合的な行政能力、自らの人的・経済的資源についての理解、市民社会や民間セクターとの連携の経験を活用することにより、リスク・ガバナンスやマネジメントの能力を高めることができます。都市が自らの能力を理解し、他都市の優良事例から学ぶことは、自然災害等の事象に対し、経済、社会、環境、制度面でのレジリエンスの高い都市が実現するために不可欠です。

※**OECD「重大リスクのガバナンスに関する理事会勧告」** (2014年5月採択)

<http://www.oecd.org/gov/risk/Critical-Risks-Recommendation-Japanese.pdf>

議事次第 (2015 年 3 月 16 日 (月))

9:30 – 9:40 開会

- ロルフ・アルター OECD 公共ガバナンス・地域開発局長

9:40 – 10:30 Session 1:複雑なリスクに対するマネジメントに向けた、優れたガバナンス

目的と主な議題

本セッションは、複雑なリスクのマネジメントを強化することが、優れたガバナンスにとっていかに重要であるのかを議論する。政府は防災のための「社会全体としての取り組み」をどのように効果的に推進することができるか。今後 20 年先に直面するであろうリスクは現在のリスクとどのように異なると政府は分析しているか。この分析によって公共投資はどうあるべきか。

議長

- ロルフ・アルター OECD 公共管理・地域開発局長

スピーカー (予定)

- パトリシア・ブラン (フランス エコロジー・持続可能な成長・エネルギー省 リスク防止総局長)
- サマンサ・チャード (オーストラリア 司法省 危機管理政策担当長官補佐官)
- 廣木謙三(国土交通省 水管理・国土保全局 水資源計画課長)
- ルイジ・ダンジェロ (イタリア 市民保護省 国際局長)
- 西村英俊(東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA) 事務総長)

10:30 – 11:20 Session 2: よりよいリスク・ガバナンスを通じた都市のレジリエンス強化

目的と主な議題

を踏まえ、都市がよりよいリスク・ガバナンスを通じていかにレジリエンスを高めることができるかを議論する。重大リスクに対し、都市は何をすべきか。都市は、どのように民間セクター、市民社会、学界等の取り組みを連携させ、レジリエントで暮らしやすい社会を強化できるか。都市は危機に直面した際、どのようにリスクを伝達し、リーダーシップを発揮できるか。

議長

- 石井喜三郎 国土交通省国土交通審議官

スピーカー (予定)

- 久元喜造（神戸市長）
- レジ・テポ（セーヌ河川管理機構局長、フランス）
- ダン・ルイス（UN-HABITAT 都市のリスクとレジリエンスに関するプログラム長）
- 海外都市代表
- 合場直人（三菱地所株式会社 代表取締役）

11:20 – 11:30 閉会

- ロルフ・アルター OECD 公共ガバナンス・地域開発局長
-

OECD（経済協力開発機構）のご紹介

OECD(経済協力開発機構)は、世界各国における経済や人々の暮らしやすさを向上させるための政策を促進する国際機関です。34カ国の加盟国から構成され、事務局はパリにあります。委員会活動は様々な分野で活躍する政府等の専門家によって行われています。

OECDは、政府が連携して経験を共有し、共通の課題に対する解決策を見出すためのフォーラムを提供しています。OECDは政府と協力し、経済・社会・環境の変革をもたらす要因を追求しています。また、生産性や、貿易・投資の世界的な潮流を計測しています。

www.oecd.org

OECD 公共ガバナンス・地域開発局のご紹介

新たな経済・社会・財政的な制約下において、政府や関係機関が公共政策の企画立案力を強化できるよう、政策手法、データ、専門知識、優良事例等を国際的に収集する先導的機関として活動しています。

特に以下の点を目指しています。

- 経済的・社会的な暮らしやすさを向上させるために、公共部門やガバナンスが重要な役割を果たすこと
- 政府の戦略的能力を開拓すること
- 国の役割や、政策手法の選択を見直すこと
- 公共サービスの企画、提供の効率性・透明性を向上させ、イノベーション、信頼、市民参加を重視すること
- バランスのとれた包括的な成長によって、都市や地域が国のパフォーマンスを最大化させる可能性を高める

www.oecd.org/governance/risk

www.oecd.org/regional

www.oecd.org/governance/risk